

令和 4 年仕事納め式あいさつ

今年も想定していなかったことがありました。そろそろ収束するだろうと思っていた新型コロナウイルス感染症の継続、2 月にはロシアによるウクライナ軍事侵攻、北朝鮮の度重なるミサイル発射、円安、これらによる燃料、物価の高騰、そしてこれらは今なお続いていて、不安定な生活を強いられた 1 年でありました。

このような不安定で予測できない 1 年でありましたが、皆さんには業務に邁進していただき、住民の皆さまの相談などに親身になって、対応していただきました。

大雪のときには、多くの意見をいただきましたが、それにも耐えて、少しでも早く通行できるように頑張っていたいただきました。

2 月には、友好交流行っている滋賀県湖南市との 10 周年記念式典を「リモート」という形で行い、これからも交流を継続していくことを確認できました。残念ながら、諸事情で職員の交流については、中止しておりますが、また、機会をみつけ、復活できたらと思っています。

3 月には、B&G 海洋センターにバイオマスボイラーを整備し、環境にやさしいまちとして、取り組みを加速させたところです。また青山剛昌ふるさと館は、開館 15 周年を迎え、4 月には新しい館長をお迎えし、コロナ禍で減少した入館者数の増に取り組んでいただいています。このふるさと館については、再整備を考えており、今、計画に取り掛かっています。また久しぶりに 1 月 3 日には「青山剛昌先生と話そうデイ」があります。これを契機にまた多くの方に北栄町にきていただけたらと思います。

5 月には、住民との新しいまちづくりの手法として、「ほくえい未来ラボ」を開催しました。職員さんには、チームの推進役となっていただきました。住民、自らが研究員となっていただき、先日、最終の発表会があり、「中央公民館大栄分館について」提案をいただきました。この提案を中心にこれからの建設等の参考にいたします。この試みは、来年度もテーマを変えて、実施していくつもりです。

8 月には、3 年ぶりの北栄砂丘まつりを開催し、地域の活性化、多くの方が元気になったと思います。

そして、コロナや物価高騰などで生活が不便となった住民や事業所等への支

援として、通常の業務に加え、力を合わせて、取り組んでいただいていること、業務が特定の部署に集中してしまうことになっていますが、課長さんを中心に対応していただいていること、お礼申し上げます。

またコロナ禍では、特にこども園や小中学校の職員さんには、通常以上に精神的にも肉体的にも多くの負担があったと思います。さらには、9月末で教育長が不在となったことで、教育総務課長を筆頭に大きな負担をかけていること、お詫びし、私の人脈のなさを痛感しているところです。

一部の紹介でしたが、それぞれの職場で業務に励んでいただき、積極的に取り組んでいただきました。新型コロナウイルスワクチン接種では、多くの職員さんに長期間、従事していただいております。おかげさまで、大きなトラブルもなく対応できております。

しかしながら、業務の遅れや不適切な対応で、住民や同僚の職員に迷惑をかけてしまった事例もあります。公用車の事故もありません。反省すべきところは反省し、同じ過ちをしないようにこころがけていただきたいと思います。自分が何のために仕事をしているのか、役場は何のためにあるのか。もう一度、考えていただきたいと思います。

多くの職員さんは、明日から6日間の年末年始の休暇となりますが、この期間中に勤務に当たられる職員の皆さんには、お世話になりますが、よろしく願います。また、時節柄、お酒を飲む機会も増えると思いますが、飲酒運転は絶対にしてはいけません。

職員さんが元気でないと、住民、まちが元気になりません。

皆さんが令和5年の新春を健やかに迎え、新しい年が笑顔で満ちた年となりますよう、そして、1月4日には、元気で出勤していただきますように祈念して、令和4年の仕事納め式のあいさつとします。

令和4年12月28日
北栄町長 手嶋俊樹